

協働推進計画検証(自治推進員意見取りまとめ)

平成24年度第4回自治推進委員会  
平成25年3月18日〔資料3-1〕

IV-1 広報・啓発活動

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(※要約)
1	情報発信・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内NPO法人の活動紹介や協働推進コーナーの設置及び協働事業について広報で周知した。</li> <li>市HPでは「市民活動情報館」を開設して、協働事業の募集、助成金情報、市民活動団体情報等の情報提供を行なっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供してきたが、市民等からの反応がない状態のため、周知方法を再検討する必要がある。広報活動を活発にするのもいいのではないか。</li> </ul>	C	当面、根気よく広報活動を活発にする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチフレーズ等を考える。</li> <li>市HPから情報発信していることを広く周知することは勿論、HPに馴染まない市民のためにも紙ベースで常設し、ここに来れば一番情報があるというスペースを設ける。</li> </ul>

IV-2 人材の育成

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(要約)
2	研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体の情報発信力アップとしてパソコン講習を3年間行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政と市民等との研修に対するニーズにズレを感じている。現在、市民団体の中で、研修会等を企画していただきたく市提案型協働事業として公募しているが、応募がない状態。</li> <li>研修そのものが必要性がどうか再検討しなければならない。</li> </ul>	C	研修必要なし。 <ul style="list-style-type: none"> <li>市としての研修会は必要ない。</li> <li>情報発信のみ継続。</li> </ul> 研修必要 <ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成の研修会は続けるべき。</li> <li>団体に事前アンケートをして団体のニーズにあった研修会を行なう。</li> <li>団体に研修会を企画してもらうなら、中間支援が目的の団体に声かけをしてみてもいい。</li> <li>単発の研修は、テーマを絞って、関係する団体に声かけする。</li> </ul>
3	体験活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>市各課での行事は現状に沿った行事を計画しているので、充実していると思われる。</li> <li>17地区コミュニティのうち13地区コミュニティでは、策定している「まちづくり計画」に沿って、各々活動を活発にしているため、一定の成果を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未計画の4地区コミュニティに策定を促しているが、あまり進んでいない。今後は、補助金等で格差をつけるなど、策定の必要性を促していきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金等で格差をつけるのに賛成。</li> <li>どのように計画を策定したらいいのか分からないのでないか。地域住民が団結しなければなかなか難しいので、他のコミュニティ活動の周知等を行政からもアドバイスしてほしい。</li> <li>補助金を出したら実施しなければしまいというのは、一番してほしくない行政のやり方。</li> </ul>
4	交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働事業を通じて、特定の市民活動団体と行政の交流は図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の市民活動団体との交流は見られるが、全体的には、進んでいない。団体間も活動が様々なためか交流の必要性を感じていないようだ。行政は、団体の情報を提供して、団体独自に必要な交流をしていくほうが、団体活動には有効と思われる。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体独自に必要な交流を行なうのが良い。</li> <li>行政は、関係各課の職員等が、団体と情報交換を行い、常に団体の活動内容・課題・ニーズの把握に努めて団体に必要な最新情報を提供すること。</li> </ul>
5	市民活動ステップアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民団体のスキルアップのための補助金として、100%補助で金額が5万円と手ごろなせいか、市民活動団体としては、活用しやすい補助金と思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体スキルアップ支援として利用を広げるための周知に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体スキルアップ支援として利用を広げるために、これまでの事業概要等を市民に周知する。</li> <li>ステップアップに応募してきた団体の事業から提案公募型協働事業として行なえるものもあるし、逆に提案公募型事業で応募してきたものがステップアップに馴染む場合もあるので、事業内容をよく検討すること。</li> </ul>

#### IV-3 活動基盤の整備

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(要約)
6	市民活動推進センター（仮称）の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動推進コーナー設置について市広報紙で掲載。</li> <li>コーナー設置の際にアンケートに基づいてパソコン・プリンターを設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動推進コーナーの利用がないために、H22市民活動団体に集まっていた時にコーナー見学を行なったが、利用には繋がっていない。</li> <li>今後、コーナー自体が必要かどうか検証しなければならない。</li> </ul>	D	必要ない。 必要。 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用がないから中止するわけにはいかない。</li> <li>活用方法がわからないのでは。</li> <li>ロビーなどを利用してPRし、職員が活用方法をアドバイスしては。</li> <li>各団体のパンフレット・イベントのチラシ等を分野ごとに常時設置し、ここに来れば、一番情報がわかるというスペースにしては。</li> </ul>

#### IV-4 相談窓口の設置

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(要約)
7	相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>本庁で部屋を準備して、開催時間：1回3～5時間の対応から、コミュニティセンターへ相談員が出向き、予約制の相談とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談に来る団体が少ない。今年度も予約制にしているが、問い合わせがない状態。初対面の経験豊富な相談員に団体の内部事業の相談は、しにくいようだ。不定期の相談員が必要かどうか、市職員で対応するほうが、いいのか検討する必要がある。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員のみでの対応でよい。（市の事業に詳しく、相談しやすい）</li> <li>市職員は、相談者と専門相談員（予約制）との間を繋ぐ役割をし、相談時には市職員も同席する。</li> </ul>

#### IV-5 交流、連携の推進

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(要約)
8	ネットワークの構築、情報の一元化と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体・助成金・企画募集・協働事例・条例関係を市ホームページにて情報提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員・市民活動団体ともに反応がほとんどない状態。周知方法の見直しの必要がある。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>市HPを利用する人は、ほんの一部、ほとんどの人が直接家に配られる広報・社協の「かけはし」を情報源にしているので、それらに分かりやすい見出しで、情報提供しては。</li> <li>紙媒体でコミュニティセンター・市民活動推進コーナーに設置したり、市のTwitterをつくっては。</li> </ul>

IV-6 市の事業への参入

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(要約)
9	市・市民団体提案による事業への参入	・行政と協働事業を行いたい市民活動団体は、提案公募で事業を開始して、その事業を継続して行っている。	・行政と協働事業を行いたい市民活動団体は、すでに提案公募で事業を開始して、その事業を継続して行っているところが大半のため、新たに事業を起こしてまで事業をする必要性がないのかもしれない。そのために、提案公募の応募がないのでないか。また、自分達で企画する事が難しいらしく、市から提案した事業のほうが取り組みやすい傾向がある。	C	事業自体見直す必要あり。 事業継続 ・応募がない年があっても、この制度があることが必要。 ・市からの提案の場合、職員が協働のテーマに適しているかどうかの見極めと市内団体のことを把握していないと進展はしない。
10	市の事業への参入	・各課で協働と認識せずに行なっていた事業が、実は協働事業だった場合が少なくなく、今後は、各課で行なっている協働事業に重点をおくほうが、望ましいのでないか。事例件数をみると、決して協働事業が遅れているようには思えない。	・各課で行なっている協働事業について、どのようにして市民等・市職員に周知し、協働への意識改革していくかが、今後の課題。	B	・市民等・市職員の協働への意識改革が必要。 ・協働は、対等なパートナーで行なうという意識をお互いに持つ事が大事。 ・広報で、誰もが知っている事業が「協働事業である」ということを記載しては？小・中・高などの学校にも配布しては。 ・市民と一緒にしていたら協働というのではなく、そのレベルをしっかりと見ていかないと、協働は本当には進まないのではないかと思う。

V-3 協働推進員の役割

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(要約)
11	プロジェクトチーム	・H23までは、協働推進員の協働への意欲があまり感じられなかった。しかし、H24からは、研修の出席率を見ても、徐々に認識の変化が現れてきているように思える。	・当面は職員の意識改革が重要と思えるため、特別なプロジェクトチームを結成するのは、時期早々に思える。	C	・当面は職員の意識改革を重視する。 ・以前、協働を考える職員の集まりがあったが、その頃のほうが意識があったように、外から感じました。
12	協働推進連絡会	・職員の協働に対する意識がH24になって、やっと少しずつ変わってきているように思える。	・今後は、丸亀市の協働が決して他市に遅れていない事を周知し、前向きに協働に取り組むような研修をしていく事が大切に思える。	C	・丸亀市の協働が他市に遅れていない事を周知し、今後も各課・団体とも連絡を取り合いながら前向きにとりくんでいく事が必要。 ・各課と団体の両方から協働事業について聞く機会など研修は必要。知ることが大事。 ・一番丸亀にほしいのは、リーダーシップの取れる団体と人材で、その方がいないのが残念。

V-4 職員への啓発

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	自治推進員意見等(要約)
13	事例集の作成	・事例は、随時更新している。	・反応があまりない。今後は、どのようにして周知していくかが課題。	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載だけでは、市職員といえど周知が難しい。</li> <li>広報活動を活発にする。</li> <li>事業を行っている経過・行なった結果や活動をしているところを写真も一緒に掲載した方が、イメージを持ちやすいと思う。</li> <li>思った以上に事例が、たくさんあって良かったと思います。</li> </ul>
14	研修会の開催	・職員の協働に対する意識がH24になって、やっと少しずつ変わってきているように思える。	・今後は、丸亀市の協働が決して他市に遅れていない事を周知し、前向きに協働に取り組むような研修をしていく事が大切に思える。	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員が意識改革できなければ、なかなか改革は難しい。丸亀市職員は、レベルが高いと思われるようになってほしい。</li> <li>各課と団体の両方から協働事業について聞く機会など研修は必要。知ることが大事。</li> </ul>

その他

・No.6とNo.7を一つにまとめるのはどうか。常に、相談員がコーナーいてくれると気軽に相談できるのでは？

・「研修会」の開催について提案  
 1.年末に、来年度に行なってほしい研修会の内容を各団体に直接周知、募集する。  
 2.その結果を市で、いくつか選定して、各団体に周知し、その中で参加希望を募る。  
 3.希望の多かったものを来年度の研修とする。

・「活動団体の情報掲載」についての提案  
 大学・短大・専門学校などに紙媒体で配布し、掲示してもらい、現在どの団体がどのような活動を行っているのかを、ボランティア等に興味のある学生に分かるようにしたり、大学のHPに載せてもらうのはどうでしょうか。(大学のHPから市のHPの団体情報が見れるようにする 等)

・大きな間違いを覚えます。今回の意見記入は難しい一言です。一つ一つの問いかけに対しどれだけの時間を割いて望んだのか、自問自答します。自治推進委員の在りようを問われているようです。14項目に綴られている実施内容は、一時間半余りの委員会で検討するには、項目が多すぎます。任期二年余りの期間にこれほどの問題点を検討するには、あまりにも時間が足りません。毎回の課題なりテーマを絞って話し合う必然性を覚えます。実り豊かにするには、深みのある開墾も大切です。手を入れれば容れるほどに味わい深い収穫が手に入ります。第2回のレポートを思い出します。

A: ほぼ施策を達成    B: まあまあ達成    C: 顕著な成果が見られない    D: ほとんど成果がみられない

IV-1 広報・啓発活動

No.	項目	自治推進員意見等
1	情報発信・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自信、HPを見る習慣がない。根気よく広報活動が続けるしかないと思う。</li> <li>・市HPの利用がないのは、まだまだ市民にとって難しいからでないか。</li> <li>・当面、広報活動を活発にするという案に賛成です。</li> <li>・広報活動一本にする方が良い。</li> <li>・無駄なようだが、繰り返し情報の提供と広報活動を活発にする。</li> <li>・誰もが、目にとめるとすれば、やはり広報活動を活発にするしかないのではないか。キャッチフレーズ等(大きさ等)考えて。</li> <li>・広報・HP掲載は、勿論ですが、             <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所がわかりにくい(折角の配布用のチラシも減らないのでは?)</li> <li>・コーナー活用法のイメージがわきにくい</li> </ul>             等感じます。コーナーがあることを、もっと活かすことができれば、チラシだけでも人通りの多いコーナーにするなど。           </li> <li>・確かに情報が市から発信されていることを知らないというのでは、もったいないし、せっかく情報を発信してくれている意味もないので、広報活動を活発に行い市のHPを見たら、情報があるということを知らせるのも大切だと思います。</li> <li>・ホームページがあること、助成金や協働事業などの情報提供を行っていることは必要な事と思います。</li> </ul> <p>情報提供も、ネットだけではなく、団体のパンフレットやイベントのチラシ等、分野ごとに常時設置でき、市内でここに来れば一番情報があるスペースがあればいいと思います。</p>

IV-2 人材の育成

No.	項目	自治推進員意見等
2	研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン研修が必要だと思うが、市民には、もうほとんどいきわたっているので、市としての講習会は必要ない。</li> <li>・人材育成においては、研修会の開催は続けるべきです。</li> <li>・研修内容に知恵をだすこととか開催場所とか市民の参加しやすいことが求められると考えます。</li> <li>・必要なし・・と思う。</li> <li>・研修そのものが必要かどうか。再検討しては?</li> <li>・市民活動団体も行政にたよりすぎている部分もあると思う。しかし、それも仕方がないところもある。もう少し、なげかけ、考えさせ活動ができな いかと思われる。市民も自分の事を考える事で精一杯の所がある。関心のある所には、目を向けるが心のゆとりもないのかもしれない。行政に たよるわけではないが、情報発信は継続していただきたい。</li> <li>・応募してないのであれば、必要ないと思います。</li> <li>・情報発信方法そのもののニーズのばらつきがあると思います。チラシやHPで発信したい団体もいるかもしれませんが、外向に限らず団体内 (運営面)での悩みの方が多いのでは・・・?</li> <li>・市提案型協働事業として公募しているという情報を市HPや広報だけの掲載なら、知らない団体も多いのでは?</li> <li>・団体がどのような研修なら受けたいと思っているのか、事前にアンケートを取ってみてもいいのでは。</li> </ul> <p>団体が研修会を企画することについて、提案公募でなら、中間支援を目的にしている団体があれば、声をかけてみるものひとつだと思います。 また、単発であれば、テーマを絞って、関係する団体に声をかけるのも方法だと思います。</p>

3	体験活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コミュニティの活動は活発になっているが、現在参加していない住民の掘り起こしが重要。</li> <li>・コミュニティ活動は私共(法の郷)では充実したものと考えていますが、自治会加入率が低下している点の対策が細大の課題です。</li> <li>・補助金等で格差をつけるに賛成である。</li> <li>・未計画の一地区ですが、次年度で計画予定です。</li> <li>・地域住民が、団結しなければなかなか難しい問題である。今後とも行政からのアドバイスをお願いしたい。</li> <li>・補助金を出したら実施しなければまいというのが、皆さんの本音である様に思う。また、一番してほしくない行政のやり方。</li> <li>・各コミュニティの個性が出て充実していることは、すばらしいと思う。進んでいないところは、リーダー不足でしょうか？それとも、すでに満足している？</li> <li>・未策定4コミュニティでは、どのような計画を策定したらよいか、イマイチよくわからないという可能性は無いのでしょうか？もし、そうであるなら、他のコミュニティはどのような計画で活動を行っているのかなどを教え、市職員の方と一緒に考えてみる機会をつくってみてはどうでしょうか。</li> </ul>
4	交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同種事業については独自に必要な交流をおこなうのが良いと思う。</li> <li>・情報提供のみで良いと思う(現状以上に)。</li> <li>・特定の市民活動団体との交流のみであると思います。全体との交流が一番望ましいのですが、それは無理だと思われるので、一団体ずつからでも、行政がバックアップする形で応援してほしい。</li> <li>・交流の必要のないところも確かに有ると思うが、交流の効果の実感が無いところが大きいと思えます。成功例など提示頂けるとイメージがわかりやすい。</li> <li>・各団体が、それでいいと思うならそれでいいと思います。でも、行政は、常にどの団体が今どんな活動を行っているのかなどを把握し、それぞれの団体に最新の情報を提供できるようにしておかなければならないと思います。</li> <li>・関係する各課の職員の方が、団体に足を運んで、実際にしていることを見て、参加している市民の課題やニーズを感じることは、とても大切なことだと思います。</li> </ul> <p>団体から話を聞くことよりも、理解が進むと思います。  また、関係各課と団体とが情報交換できる機会があれば参加したい。  その中で、市の体制などに対する意見を聞いた方が、全体で聞くよりもいいのでは。</p>

5	市民活動 ステップ アップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営利目的でなければ、市民活動団体の幅があることを知り、個人的に興味を持った。</li> <li>・ご提案どおりで良いと思う。</li> <li>・利用を広げるよう周知に賛成である。</li> <li>・同感である。</li> <li>・支援を続けていただき、もっと事業概要を市民にPRしていただけたらと思う。</li> <li>・広く活用されると良いです。</li> <li>・頑張ってください。その時に、これまでどんな活動に活用されたのか周知することが大切ですよね。</li> <li>・新規事業のみ、新規事業で5万円という金額なら、応募対象の幅が狭く、それなら利用しないと思います。</li> </ul> <p>また、提案公募協働事業は、協働のテーマで、委託も視野に入れたもの。ステップアップ補助事業の5万の制度などは、単発の助成金として、市からの予算も、目的を分けて見ていくことも必要ではないかと思えます。ステップアップに応募してきた団体の事業から、提案公募に拾い上げていけるものがあるかもしれないし、逆もあるかもしれません。</p>
---	---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### IV-3 活動基盤の整備

No.	項目	自治推進員意見等
6	市民活動 推進センター (仮称)の 設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン・プリンター等は、各家庭に普及しているので、利用者がいなくても気にすることはない。しかし、相談等の活動拠点は必要。</li> <li>・率直に言って、実態なども知らなくて申し訳ないが、現状維持でいいのでは。</li> <li>・コーナーの必要はない。</li> <li>・コーナーの利用が無いから中止？するわけにはいかないとします。</li> <li>・ロビーなどを利用にPRをし、手がかかるかもしれないが、職員がアドバイスをする様にして継続してはどうかと思う。</li> <li>・市広報紙やコーナー見学までにして、その後利用がないのであればコーナー設置をする必要はないのではないのでしょうか。</li> <li>・コーナーは、有った方が良くと思います。ハードがあるだけなのと、使えることは別なので活用方法がわからないのでは？ニーズが無いとは思えません。</li> </ul> <p>それぞれの団体が今どのような活動を行っているのかなど、情報を伝えられるよう、各団体で作成した広告・チラシなどが置けるスペースを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供も、ネットだけではなく、団体のパンフレットやイベントのチラシ等、分野ごとに常時設置でき、市内でここに来れば一番情報があるスペースがあればいいと思います。</li> </ul> <p>また、有料はもちろんとして、印刷機の使用ができれば利用する団体はあるのでは。</p>

#### IV-4 相談窓口の設置

No.	項目	自治推進員意見等
7	相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員の常駐は難しい。申し込み予約制で良い。</li> <li>・相談窓口は必要と認識しますが、担当者の配置が難しいと思う。内部(市)の考え方を検討されること。</li> <li>・相談窓口は必要。</li> <li>・市職員で対応すべきである。</li> <li>・相談できる市職員で対応するのがいいと思います。</li> <li>・内容にもよるが、市職員で対応する方が、相談はしやすい。(気持ちの持ち方ではあるが安心するのではないか。)</li> <li>・市職員で対応してほしい。</li> <li>・課題どおり、いきなり団体の内部事情と相談はしにくいと思うし、よっぽどになってからだと思います。高松は、市職員とつながりがあり、相談の交通整理をされていると聞きました。</li> <li>・不定期でも専門の相談員は必要だと思います。もちろん、市職員の方も必要です。初対面の経験豊富な相談員に団体の内部事情を相談しにくい人は、やはり市職員の方に相談しやすいのでは?と思うからです。市職員の方は、相談者と専門相談員との間を繋ぐ役目もあると思います。</li> <li>・外部の専門的な意見を聞く機会も必要な時があると思うが、市内を中心として、活動をしていく上で、協働などを視野に入れた時などには、市の事情にも詳しい市の職員に相談したいと思います。</li> <li>・市の職員が中心に行いながら、専門家の意見を職員も団体も聞くことができるような体制がいいのではないかと思います。</li> </ul>

#### IV-5 交流、連携の推進

No.	項目	自治推進員意見等
8	ネットワークの構築、情報の一元化と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1でも書きましたが、市HPを利用する市民が少ない。(ほとんどない。)</li> <li>・ご提案のとおり周知方法の見直しでしょう。年1回の団体の会合をもつことはどうでしょう。</li> <li>・市職員の反応がないのは・・・?</li> <li>・HPのみの提供では?</li> <li>・他の広報にも..利用すべきである。</li> <li>・同感である。</li> <li>・市民が一番多く見るのは、やはり広報だと思う。</li> <li>・情報提供も広報活動にたよる方が良いのではないか。</li> <li>・一般の方からの見方、考え方から言いますと、HPを見る方は、ほんの一部の方で、ほとんどの方が直接家に配られる「広報まるがめ」や社協の出している「かけはし」が唯一の情報元であるので、それらに分かりやすい見出しで、情報提供する事が望ましい。</li> <li>・ネットワークは、団体の情報を掲載を掲示するだけではできません。人と人なので、市の行事などを活かして、つながり作りを構築していくしかないと思います。</li> <li>・市のHPだけでなく、紙媒体のものや市のTwitterをつくり、そこから情報を発信した方が、情報が更新されても、すぐに分かると思います。</li> <li>・紙媒体のものは、コミュニティセンター内にある各団体の情報誌?が置いてあるところに、常に置いておく。勿論、情報が更新されるたびに、最新のものに。</li> <li>・市民活動推進コーナーにも、紙媒体にして、わかりやすいところに掲示しておく。(相談窓口にも)</li> </ul>



IV-6 市の事業への参入

No.	項目	自治推進員意見等
9	市民提案事業への参入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの者としては、これ以上の意見はありません。</li> <li>・現状のままでよいのでは？</li> <li>・行政と協働事業でなければ市民活動団体だけでは幅広い情報が得られない場合が多い。市からの提案を頂き、たより過ぎない取り組みをしてほしい。</li> <li>・提案公募で新しい事業をしたいとの団体はないと思うし、又これまで継続して行なっている団体についてもこの事業事態を見直す必要がある。</li> <li>・課題のとおりであると思うが、今後も提案公募の受け皿を継続お願いします。</li> <li>・すでに提案公募で事業を開始し、それを継続して行なっている、平成20年度の1番の事業は最初のデータベースの整理は大変かもしれないけど、一度行なってしまえば、毎年少しずつ更新していただけたと思います。その他にも、平成24年度の1マップ作り。これらの団体に、もう一度、新しく事業をおこさないか声をかけてみるのも一つの手ではないでしょうか。</li> <li>・応募がない年があっても、この制度があることは必要だと思う。</li> </ul> <p>団体からの提案、市からの提案の両方の矢印があるのはとてもいいと思う。 市からの提案の場合、職員が協働のテーマかどうかの見極めと、市内団体のことを把握していないと進展はしないのでは。</p>
10	市の事業への参入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考資料を見ると、じぶんでも知っている活動が協働であった。自分が所属している団体も新しい事業を考えているところなので、応募してみようと思った。</li> <li>・コミュニティの者としては、これ以上の意見はありません。</li> <li>・市民等・市職員の協働への意識改革が必要。</li> <li>・纏める課は地域振興課？</li> <li>・どの課も協働事業を頑張っていると思う。市民・職員ともに事業内容が協働事業になっていることも訴え、意識を高めていただきたい。</li> <li>・協働であるという意識、特に対等なパートナーという意識をお互いに持つ事が大事だと思います。</li> <li>・私も今回初めて、広報や献血も協働事業だったと知りました。手始めに、広報で、市民が分かりやすい事業(広報のことや献血、ハーフマラソンなど)誰もが知っている事業が「協働事業である」ということを記載してみてもは？小・中・高などの学校にそのことを書いたものを配布してもらうのもどうでしょう？</li> <li>・現在行われている協働事業も、どのような関係性か、内容なども評価していき、市民と一緒にしていたら協働というのではなく、そのレベルをしっかりと見ていかないと、協働は本当には進まないのではと思います。</li> </ul>

V-3 協働推進員の役割

No.	項目	自治推進員意見等
11	プロジェクトチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの市民が何か団体に入っていると思う。その団体の活動も協働事業として成り立つことを知らせていくことが必要。</li> <li>・意見なし。</li> <li>・課題内容に同感である。</li> <li>・意見をどしどし出し合い意識を高めて改革していけば良いと思う。</li> <li>・タイミングを見て……</li> <li>・以前、協働を考える職員の集まりがあったが、その頃の方が意識があったように、外からは感じます。</li> </ul>
12	協働推進連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案のとおりと思う。</li> <li>・課題内容に同感である。</li> <li>・同感である。</li> <li>・職員の意識が変わってきた事は、良い事である。これからも連絡を取り合い前向きに取り組んでいく事が必要。</li> <li>・一番丸亀にほしいのは、リーダーシップのとれる団体と人材で、その方がいないのが残念。</li> <li>・たくさんの方に知って頂くことが大切と思います。</li> <li>・行われている協働事業について、各課と団体の両方から聞く機会などの研修は必要だと思います。知ることは必要だと思います。</li> </ul>

V-4 職員への啓発

No.	項目	自治推進員意見等
13	事例集の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No.8と同様に考えます。(周知方法の見直し)</li> <li>・事例集が必要であれば、現状のままでも良いのでは。</li> <li>・必要と思う人は、その都度みているのでは？</li> <li>・思っていた以上にたくさんあってよかったと思いました。「反応」は、職員の反応ということでしょうか？掲載だけでは、職員といえど周知が難しいと思います。</li> <li>・HP以外でも。(No.8のところで書いたように)その事業を行っている経過や行なった結果、また活動をおこなっているところの写真も一緒に掲載した方が、イメージを持ちやすいと思います。</li> </ul>
14	研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市職員は、レベルが高いと思われるようになってほしい。</li> <li>・職員の意識が上向いていると思えるのであれば、さらなる研修を継続するべきでしょう。</li> <li>・課題内容に同感である。</li> <li>・研修を開催することにより職員の意識が高まる事は良い事である。まずは、職員が改革できなければなかなか改革も難しい。このままの取り組みで研修を続けると良いと思う。</li> <li>・私たち一般市民も市職員も協働に対しての意識を高められる様努めて行かなければいけない。</li> <li>・様々な事例を知り、対応して頂けると団体も動きやすくなると思います。</li> <li>・行われている協働事業について、各課と団体の両方から聞く機会などの研修は必要だと思います。知ることは必要だと思います。</li> </ul>

## その他

・No.6とNo.7を一つにまとめるのはどうか。常に、相談員がコーナーいてくれると気軽に相談できるのでは？

・「研修会」の開催について提案

- 1.年末に、来年度に行なってほしい研修会の内容を各団体に直接周知、募集する。
- 2.その結果を市で、いくつか選定して、各団体に周知し、その中で参加希望を募る。
- 3.希望の多かったものを来年度の研修とする。

・「活動団体の情報掲載」についての提案

大学・短大・専門学校などに紙媒体で配布し、掲示してもらい、現在どの団体がどのような活動を行っているのかを、ボランティア等に興味のある学生に分かるようにしたり、大学のHPに載せてもらうのはどうでしょうか。（大学のHPから市のHPの団体情報が見れるようにする 等）

・大きな間違いを覚えます。今回の意見記入は難しい一言です。一つ一つの問いかけに対しどれだけの時間を割いて望んだのか、自問自答します。自治推進委員の在りようを問われているようです。14項目に綴られている実施内容は、一時間半余りの委員会で検討するには、項目が多すぎます。任期二年余りの期間にこれほどの問題点を検討するには、あまりにも時間が足りません。毎回の課題なりテーマを絞って話し合う必然性を覚えます。実り豊かにするには、深みのある開墾も大切です。手を入れれば容れるほどに味わい深い収穫が手に入ります。第2回のレポートを思い出します。

A: ほぼ施策を達成    B: まあまあ達成    C: 顕著な成果が見られない    D: ほとんど成果がみられない